

ホームページ用 抄録原稿

1. 発表者氏名 漆原 誠
2. 学校名 神奈川県立横浜修悠館高等学校
3. 発表テーマ 横浜修悠館高校における入院生徒への学習支援について
4. 学校概要

平成 20 年度に新タイプの高校（通信制独立校）として開校し、従来の日曜日のスクーリングを中心とした通信教育（「日曜講座」）に加え、平日に登校して教員の指導を受けつつ学習を進める「平日登校講座」と、インターネットを活用して自宅で学習を進める「IT講座」を展開している。平成 27 年度当初在籍生徒数は 3,900 名。

本校には、小・中学校段階から不登校経験をもつ生徒、学力不足の生徒、発達障害や知的障害のある生徒も在籍しており、生徒のもつ困難や課題に対して、開校以来様々な取組をしてきている。

5. 発表概要（成果と課題を含めて）

- (1) 本校における生徒への支援体制

～学校紹介を含めた本校の支援体制～

本校では、在籍する多様な生徒のニーズに対応する本校独自の多層化・重層化した支援によって、様々な生徒への対応ノウハウが蓄積され、困難を抱える個々の生徒への支援体制が整いつつある。現在は、新たなニーズとして通信制課程であることをいかして、入院生徒への支援体制の検討を進めている。

- (2) 本校の平成 26 年度における入院生徒への学習支援の取り組み

～県教育委員会が創設した入院時学習支援制度の概要とその活用～

神奈川県教育委員会が平成 26 年 7 月に定めた入院生徒への学習支援制度に基づき、本校の長期入院中の生徒 3 名（内 1 名は学校判断で対応）に対し、病院でのスクーリングや定期試験を実施し、単位修得につなげた。

- (3) 入院時学習支援制度の課題

～制度運用にあたっての課題～

入院生徒への指導計画を学校が立てる際の指導教科や職員の調整等に時間を要するなど機動的でない面もあるが、長期入院生徒への申請上の配慮や病状による指導の困難性等も課題となる。

- (4) 入院時学習支援制度の普及と発展に向けて

～様々な病状等に対応できる制度へ～

入院生徒の病状等は様々であるので、協力校制度や他校職員の兼務制度等を導入し、スクーリング機会の拡大を図る。また、通信機器を利用したスクーリングの配信など情報技術等の活用によって、入院生徒の学習意欲をさらに高め、単位修得、卒業へつなげられる。